

2023年4月27日

株式会社 A D E K A

先端半導体メモリ向け高誘電材料 生産設備を増強

株式会社 A D E K A（代表取締役社長：城詰 秀尊）は、連結子会社の ADEKA KOREA CORP.にて、先端半導体メモリ向け高誘電材料「アデカオルセラ」シリーズの生産設備増強を決定しました。投資額は21億円、2023年度中に営業運転開始予定です。

5G通信の拡大やAI、メタバースをはじめとした高度ICT社会の実現に向けて、半導体市場は2030年に1兆ドル規模に成長すると見込まれています。半導体メモリは大容量化や消費電力削減等のニーズを背景に微細化や三次元実装化などの技術革新が急激に進行しています。これに伴い半導体材料は、新しい製造プロセスや微細化構造に対応するべく、新たに複数の材料が必要になってくると言われています。

ADEKAの先端半導体メモリ向け高誘電材料「アデカオルセラ」シリーズは、世界シェアNo.1[※]の半導体材料です。半導体の微細化に欠かせない製品群として現行世代からさらに数世代にわたって使用される見通しであるため、積極投資を実行しています。2022年7月には、今後の需要増に安定供給で応えるべく、生産能力増強の投資を決定し、現在建設中です。

この度半導体材料の新たな需要に応えるため、「アデカオルセラ」シリーズのラインナップ拡充を目的として、生産設備を増強します。

ADEKAグループは今後も日本をはじめ、韓国、台湾、米国において、半導体材料関連の研究開発・生産・販売体制の強化・相互連携により、高度ICT社会の実現に貢献してまいります。

◆概要

所在地	ADEKA KOREA CORP. 全州第二工場（韓国 全羅北道 完州郡）
投資金額	21億円
スケジュール	営業運転開始：2023年度中（予定）

※ 富士キメラ総研「2020年 半導体材料市場の現状と将来展望」より。



▲ ADEKA KOREA KORP. 全州第二工場

補足：ADEKA 情報・電子化学品事業について

半導体分野やディスプレイ分野で高度 I C T 社会の発展に欠かせない先端 製品を提供しています。

A D E K Aグループ中期経営計画『ADX 2023』（2021-2023 年度）では、「次世代 I C T分野」を重要分野の一つと位置付け、最先端 E U V フォトリソグラフィ向け光酸発生剤の生産能力増強（千葉/2021 年投資決定）や、先端ロジック半導体向け材料の新プラント建設（台湾/2022 年 〃）、先端半導体メモリ向け高誘電材料の生産能力増強（韓国/2022 年 〃）、韓国子会社の R&D センター拡大移転（韓国 /2023 年 〃）など、積極的な投資を行っています。

以 上

■本リリースについてのお問い合わせ先

株式会社 A D E K A 法務・広報部 総務・広報グループ

Tel:03-4455-2803 / E-mail: somu@adeka.co.jp